

インターバンクの声（2017 年 12 月 14 日）

米連邦準備制度理事会 (FRB) による利上げ観測から積み上げられたドル買いポジションが思っていたよりも大きいままだったのか、それとも利上げ後に新たな買いが入ると思っていたのかはわからないが、昨夜のドル円の下落は思った以上だった。FOMC の結果が判明する 5 時間半前に発表されていた 11 月の米消費者物価指数のコア指数が市場予想を下回り、米アラバマ州上院補欠選で共和党候補が敗北したため、トランプ政権の先行き不安定化への懸念が広がっていたことも影響したようだ。ただ、CPI の結果にしても、それほど弱い内容ではないとの声もあり、また FOMC 声明やイエレン議長の発言でも、来年の想定利上げ回数が維持され、見通しが極端にハト派的になっているわけでもなく、ポジション整理に絡んだ思惑が優勢となつてのドル下落だった気がする。今日、明日も米経済指標の発表が多く、クリスマス休暇入りも間近になっており、引き続きポジション調整の動きに注意するのを優先させる時期だろう。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。